

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年3月6日（水）

2 確認箇所

- ・ J 4 タンクエリア、J 9 タンクエリア（移送元タンクエリア）
- ・ K 1 タンクエリア（仮設ライン設置エリア）
- ・ K 3 タンクエリア東側（フィルタユニット、仮設ライン設置エリア）

3 確認項目

多核種除去設備等処理水の移送状況

4 確認結果の概要

2月28日、東京電力は多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）第4回目の放出を、測定・確認用サンプルタンクB群を対象に開始した。

東京電力は第5回目、第6回目の放出を準備しており、第6回目の放出に向けてJ9タンクエリアから測定・確認用サンプルタンクA群へのALPS処理水移送を行っていることから、状況を確認した。

なお、ALPS処理水の移送は、ALPSからタンクエリアまで処理水を移送するために使った既設ALPS払出配管と、今回の移送のために取り付けた仮設ラインを組み合わせ、測定・確認用サンプルタンク近くに設置してあるフィルタユニットで異物を取り除きながら行っている。（図1）

(1) 移送元タンクエリア（J4タンクエリア、J9タンクエリア）

- ・ J 9 タンクエリアでは仮設移送ポンプが動作しており、2名の作業員が漏えい等の異常がないことを監視していた。（写真1）
- ・ 仮設移送ポンプに接続されている配管直下には、仮堰が設置されており、漏えい検知器が設置されていた。（写真2）
- ・ J 4 タンクエリアも今回の移送対象タンクエリアであるが、ALPS処理水移送が終了しており、ポンプなどは設置されていなかった。（写真3）

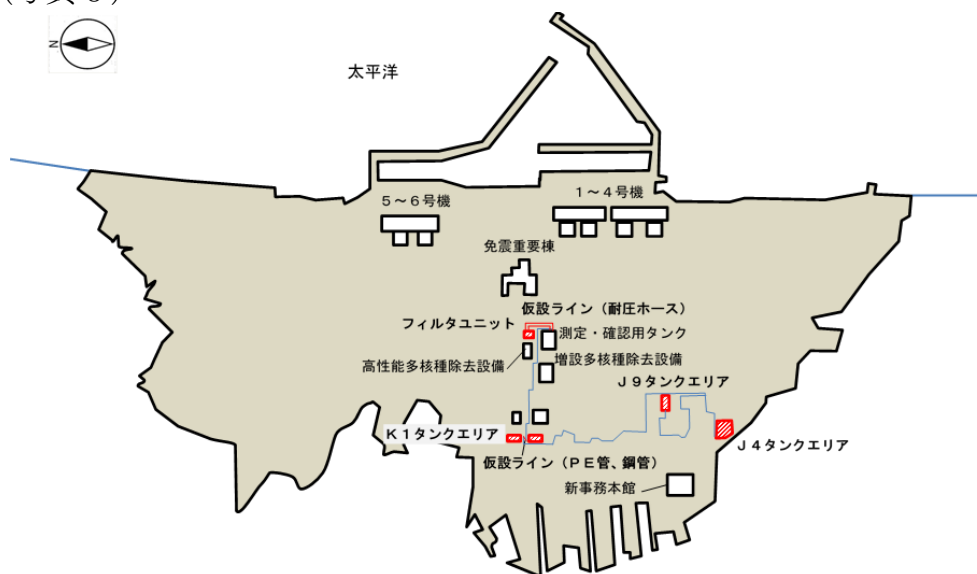
(2) 仮設ライン設置エリア（K1タンクエリア）

- ・ K 1 タンクエリアには、既設の移送配管同士をつなげる仮設ライン（PE管、鋼管）が設置されていた。（写真4）

(3) フィルタユニット設置箇所（K3タンクエリア東側）

- ・ K 3 タンクエリア東側には移送中のALPS処理水から異物を取り除くためのフィルタユニットが置かれ、作業員が各種パラメータや漏えい等の異常がないか監視を行っていた。（写真5）

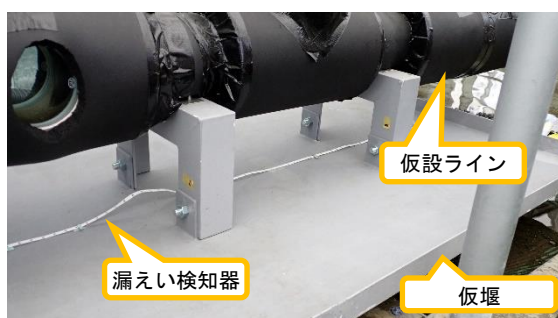
- ・フィルタユニットから測定・確認用タンクへの移送は仮設ライン（耐圧ホース）にて行われており、耐圧ホースはシートによって養生され、ホース接続部分は透明ケースに収納する等の漏えい対策がなされていた。（写真6）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
J9タンクエリアに設置されている
仮設移送ポンプの状況



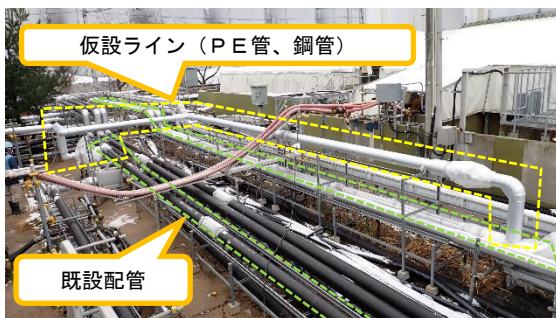
(写真2)
配管直下における漏えい検知器の状況



(写真3-1)
J4タンクエリアの状況



(写真3-2)
J4タンクエリアの状況



(写真4)
K1タンクエリアにおける仮設ライン (黄色破線) と既設配管 (緑破線)
(東側から撮影)



(写真5-1)
フィルタユニットが設置されている
小屋



(写真5-2)
フィルタユニットの状況



(写真6)
仮設ライン (耐圧ホース) の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。